

# ありがとうファンド

(愛称:『ファンドの宝石箱』)

◆ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合 いつでも購入できて、日本や外国の資産に投資することができる投資信託です。
信託期間	無期限
運用方針	投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資することを基本とします。 運用方針としては、経済の変動のダイナミズムを先取りしたアセットアロケーションを前提にファンドの組成に取り組む方針を一貫して行います。
主要運用対象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限は設けません。 ②株式への直接投資は行いません。 ③同一銘柄の投資信託証券への投資は、原則として信託財産の純資産総額の50%未満とします。
分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。(分配を行わないこともあります。)分配金は税引後自動的に全額再投資されます。

※当ファンドは課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 第9期 運用報告書

(決算日 2013年9月2日)

### ●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、皆様の「ありがとうファンド」は、平成25年9月2日に第9期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。



東京都台東区上野3丁目19番4号 サカイビル  
<http://www.39asset.co.jp>

### ◆お問合せ先

TEL. **0800-888-3900**(フリーCall: 携帯電話は除く)  
または **03-5807-9710**

受付時間8:30~17:30 (土日祝日を除く)

## 岡 大

代表取締役CIO（最高投資責任者）

---

このたび、皆さまのありがとうファンドは、おかげをもちまして第9期の決算を迎えました。これまでの9年間は、100年に1度と言われた金融危機や東日本大震災などで幾度も嵐に遭遇し、なかなか順風満帆というわけにはいきませんでした。それでも本当に多くの方々が、長期投資をご一緒に続けてくださいました。あらためまして、心から御礼を申し上げます。これからも皆さまからの厚い信頼にお応えできますよう、社員一同、精一杯の努力を続けてまいります。

さて、2020年夏季五輪の開催地が東京に決まりましたね。結果が東京に決まったと知ったとき、これは世界中が日本にけん引役を期待しているのだな、というように感じました。「そろそろ20年の沈黙を破って動き出せ！」と言ってくれているかのようです。実際に、五輪の開催は、実需の経済効果うんぬんよりも、まず心理面で明るさを提供してくれることが期待できますし、それが景”気”には大きなプラスになってくると思います。世界第3位の経済大国が再び大きく動き出す、そうすべき時が来ているのだ、そんな大きな『流れ』をも感じさせてくれる出来事です。

10年一区切りとすると、今は9合目。次の第10期の終わりには「この先何十年も続けていける長期投資の確固たる礎ができました！」と胸を張って皆さまにご報告できますよう、流れに棹さして中間スパートをかけるつもりで、一層精進してまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 川元 由喜子

投信企画運用部 ファンドマネージャー

---

昨秋から、日本の金融市場は久しぶりに息を吹き返したようで、マーケットと共に働く身にも、大いに気力が湧いてきます。「好き」の反対語は「無関心」だとどなたかの言葉にありましたが、気持ちが塞ぐのは、株価が下がっている時というよりは、マーケットが世の中の関心の外に置かれてしまう時。一年前を振り返れば、そんな状態に近かったように思います。

しかしそんな中で、地道に投資し続けていらっしゃる方が少なくなかったことも思い出します。気分や雰囲気は流されず、足元をしっかり踏みしめて歩き続ける、これこそ長期投資のあるべき姿です。そんな投資家の皆様と共に歩いていると思うだけで、とても力づけられるものがありました。

時は流れて現在の日本市場、国内はもちろん、世界からの注目度も、昨年とは雲泥の差です。日本全体が少しずつ自信を取り戻し、この本来決して小さくはない市場に、やっと存在感が出てきたように思います。市場の賑わいの中でこそ、昨年目にした地道な姿を思い起こし、浮つくことなく先を見据えて行こうと、思いを新たにしております。引き続き、よろしくお願いいたします。

◆	<b>設定以来の運用実績</b> . . . . . 設定以来の基準価額、分配金、期中騰落率、純資産総額を決算期ごとに掲載しています。 期中騰落率とは、基準価額が各期どれだけ値上り（値下がり）したかを意味します。	P.4
◆	<b>当期中の基準価額等の推移</b> . . . . . 当期中の基準価額、組入れファンド全体への投資比率の推移をご覧ください。	P.4
◆	<b>当期中の運用概況と今後の運用方針</b> . . . . . 信託財産の運用状況をファンドマネージャーが説明します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基準価額の推移</li> <li>● 当期の金融市場の動向</li> <li>● 当期の運用状況</li> <li>● 分配金のお知らせ</li> <li>● 今後の運用方針</li> </ul>	P.5
◆	<b>直接販売状況</b> . . . . . 運用会社が直接お客様に販売しているありがとうファンド。 今期の販売状況をカスタマーサービス部よりご説明します。	P.9
◆	<b>1万口当りの費用の明細</b> . . . . . 信託財産から支払われた信託報酬等が記載されています。	P.10
◆	<b>当期中の売買および取引の状況</b> . . . . . 当期中に売買された銘柄について、銘柄別に口数や金額などが記載されています。	P.10

◆ 利害関係人との取引状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.10
◆ 第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況	・・・・	P.10
◆ 自社による当ファンドの設定・解約状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.10
◆ 組入資産の明細	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.11
	決算日時点の組入資産の状況が記載されています。	
◆ 投資信託財産の構成	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.11
	信託財産の財産総額における構成状況を記載しています。	
◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.12
	信託財産全体の資産・負債の状況などが記載されています。 企業でいう貸借対照表のようなものです。	
◆ 損益の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.12
	期中に計上したファンドの収益と損失を掲載しています。 企業でいう損益計算書のようなものです。	
◆ 当期の分配金	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.12
◆ お知らせ	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.12
	当期中に発生した約款変更について掲載しています。	
◆ 指定投資信託証券の運用内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.13
	信託財産に組み入れられた投資信託受益証券及び投資証券の運用状況を参考資料として掲載。	

◆ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
(設定日) 2004年9月1日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	百万円 161
1期(2005年8月31日)	10,705	0	7.1	76.0	-	813
2期(2006年8月31日)	12,526	0	17.0	79.4	-	3,255
3期(2007年8月31日)	12,681	0	1.2	89.3	-	6,857
4期(2008年9月1日)	10,075	0	△20.6	92.0	-	6,847
5期(2009年8月31日)	8,878	0	△11.9	81.9	-	7,075
6期(2010年8月31日)	8,014	0	△9.7	84.3	-	6,850
7期(2011年8月31日)	7,940	0	△0.9	86.1	-	7,105
8期(2012年8月31日)	8,146	0	2.6	83.1	7.6	7,681
9期(2013年9月2日)	11,647	0	43.0	82.2	9.8	10,261

注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は前期比。組入比率は対純資産比。

注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク(参考指数)が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

注3) 期中騰落率、組入比率は小数第二位を四捨五入。

◆ 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準 価額	騰落 率	投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
(期首) 2012年8月31日	円 8,146	% -	% 83.1	% 7.6
9月末	8,195	0.6	83.0	8.8
10月末	8,160	0.2	83.1	8.9
11月末	8,573	5.2	83.5	8.8
12月末	9,186	12.8	84.2	8.7
2013年1月末	10,043	23.3	84.9	8.9
2月末	10,131	24.4	85.8	8.8
3月末	10,768	32.2	86.8	9.0
4月末	11,773	44.5	88.0	8.8
5月末	11,997	47.3	87.6	9.6
6月末	11,409	40.1	87.8	9.6
7月末	11,963	46.9	89.0	9.7
8月末	11,685	43.4	82.4	9.7
(期末) 2013年9月2日	11,647	43.0	82.2	9.8

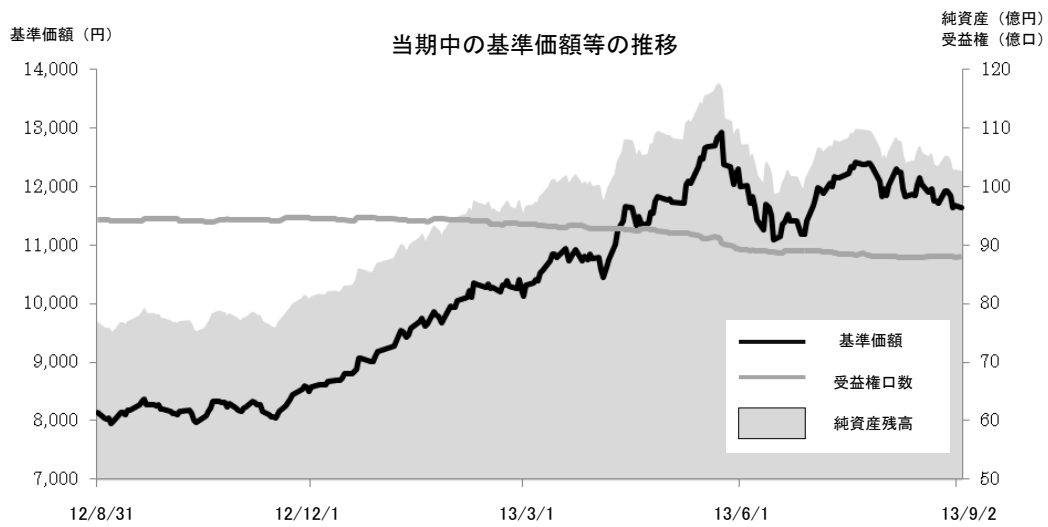
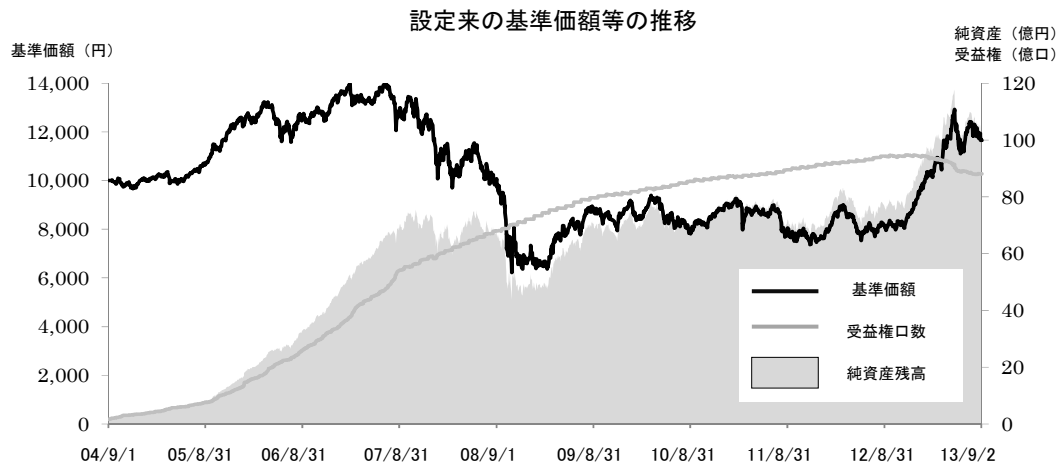
注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は期首比。組入比率は対純資産比。

注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク(参考指数)が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

注3) 期中騰落率、組入比率は小数第二位を四捨五入。

◆ 当期中の運用概況と今後の運用方針

● 基準価額の推移

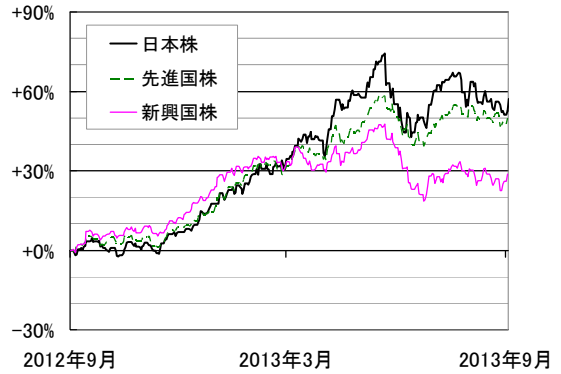


基準価額は期首 8,146 円から期末は 11,647 円となり 3,501 円の値上がり (43.0%の上昇) となりました。

期首	期中高値	期中安値	期末
2012年8月31日	2013年5月23日	2012年9月6日	2013年9月2日
8,146 円	12,920 円	7,961 円	11,647 円

● 当期の金融市場の動向

この1年の株式市場は、およそ右のチャート(日本株=TOPIX、先進国株=MSCI WI<円換算>、新興国株=MSCI EM<円換算>を、前期末からの変化率で表示)のように推移しました。



今期初あたりまでの市場は、昨年までとほぼ同じ様な雰囲気、日本、欧州、米国、新興国、それぞれが抱える諸問題への懸念などから、悲観と楽観の綱引きが繰り返されていました。

しかし、昨年11月の衆議院解散をきっかけに、政権交代や、日銀新総裁による異次元金融緩和もあって、「世界有数の経済大国である日本がついに変わる、動き出す」という見方が広がり、外人買い等から日本株は大きく水準を訂正しました。

右上のチャートでは、海外株、特に先進国株も日本株と同じくらい上昇していますが、これは円安の効果も大きく、為替の影響を除いた先進国株は約20%のプラス、同じく新興国株はほぼ横ばいの動きでした。

● 当期の運用状況

上記のような投資環境の下、この1年間のありがとうファンドの運用成績は、基準価額で3501円、率にして43.0%のプラスという結果になりました。対応する期間の、各組入れファンドの運用成績は右表の通りです。

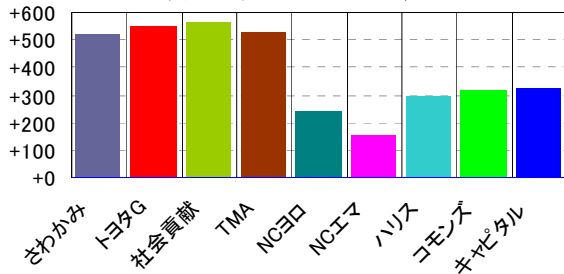
ファンド名	12/08/31	13/09/02	騰落率
ありがとう	8,146	11,647	+43.0%

組み入れている各ファンドについて、今期のありがとうファンドの基準価額の騰落に対する寄与度を表したのが、下のグラフです。

ファンド名	12/08/30	13/08/30	騰落率
さわかみ	9,900	14,954	+51.1%
トヨタグループ	9,457	16,748	+77.1%
社会貢献	8,565	12,058	+40.8%
TMA長期投資	8,291	11,478	+38.4%
NCヨーロッパ	8,581	13,353	+55.6%
NCエマージング	8,405	10,883	+29.5%
Alamco/ハリス	6,931	11,166	+61.1%
コモンス30	9,191	13,361	+45.4%
キャピタル	1,429	2,112	+47.8%

また、当期の組み入れファンドの売買ですが、期の初め頃に、キャピタルのファンドを買い増しました。その後、さわかみ、トヨタグループ株、社会貢献、TMA長期投資の4本のファンドについて、期の後半に一部売却を実行しています。

■ 組入れ各ファンドの寄与度(円)  
ありがとうファンド = +3,501円



左のグラフは、今期のありがとうファンドの基準価額の騰落について、組み入れている各ファンドがおよそどれくらい影響したかを表したものです。ありがとうファンドへの組入れ比率が高いほどプラスもマイナスも大きく影響しますから、この大小がそのファンドの成績の良し悪しをそのまま表しているわけではありません。

以上の投資行動により、期末時点の純資産総額に対する各ファンドの組入比率は右の円グラフのようになっています。その下のグラフは、組入れファンドの比率の推移を、ありがとうファンド設定のときから直近まで時系列にならべて表示したものです。

グラフの右端が不連続になっているのは、当期終盤に、それまで絞り込んできていた現金比率を少し引き上げる方向で、前記の一部売却を実行したためです。この先は、上下にかかわらず大きな動きが出る可能性（リスク）がやや高まっているという判断によるものです。

また、次ページのグラフにありますが、当期中には一時、組み入れファンドを通して国内債券を保有していました。これは設定来初のこと、TMA長期投資ファンドがインフレ連動債を購入したことによるものです。その後、債券は同ファンドの判断で売却されました。

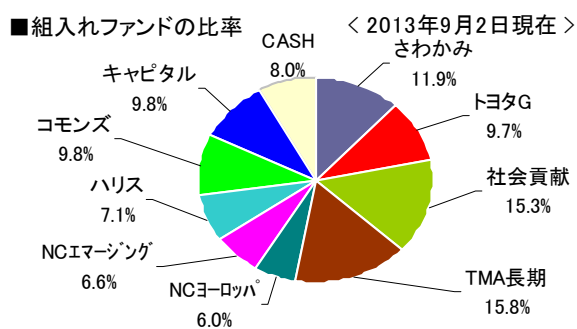
一昨年、第7期の運用報告書で、「おそらく、この大きな変化は皆さまと一緒している『長期投資』にこれから日が差してくるような、

そんな変化になると予想しています」と書きましたが、それがようやく当期、2012年末の民主党から自民党への政権交代をきっかけとして日本株市場は上昇へと転じ、相場は大きく水準を訂正する動きとなりました。

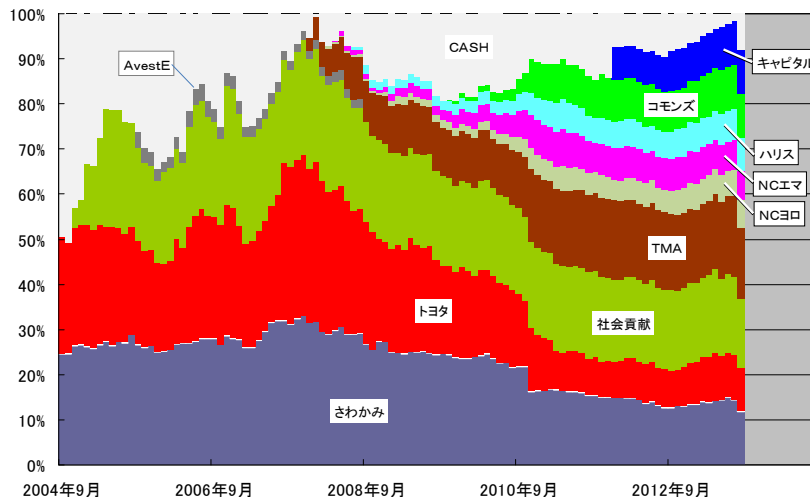
日本株が割安であるという確信から、これまで一貫して日本株に軸足を置いてきた私たちに、ようやく待っていた風が吹いた形です。月次レポートなどでも再三申し上げてきましたが、今起きつつあるこの変化は、20年来の下げ相場からの大転換になると私たちはみています。これまでの時間が、単に多くのものを漫然と喪失した『失われた20年』などではなく、『逆境の中で鍛られた20年』だったということ、これから多くの日本企業が証明してくれることになるのではないのでしょうか。

● 分配金のお知らせ

今期末の分配金につきましては、市況動向等の諸々の状況を勘案し、前期に引き続き無分配とさせていただきます。



■ 組入れファンド比率の推移



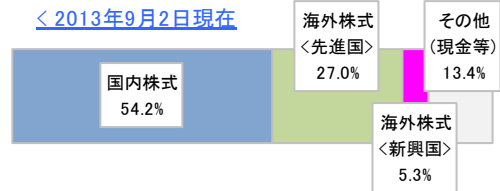


● 今後の運用方針

ありがとうファンドに組み入れている各ファンドの、資産種類ごとのポジションを集計したものが右のグラフです。また、その下のグラフは、設定来のその推移を表したものです。前のページでご説明した通り、直近で一時、わずかながら国内債券のポジションが発生していました。

■各ファンドの合計の資産配分状況

<2013年9月2日現在>

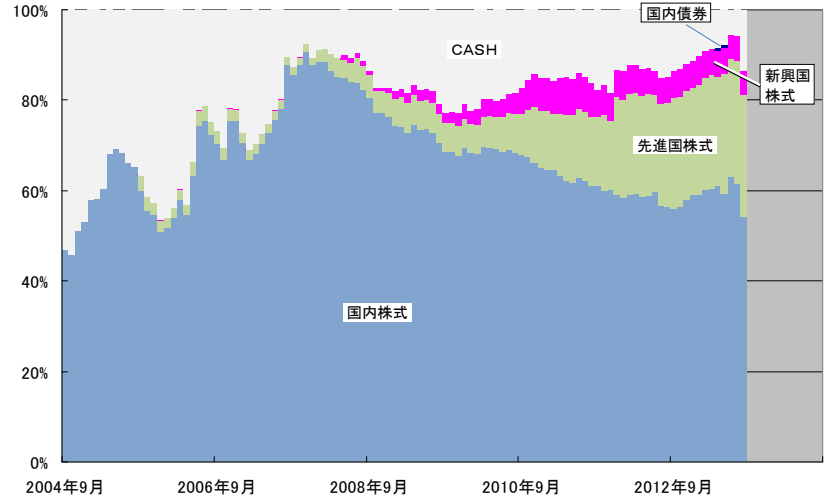


さて、各地のセミナー、あるいは月次レポートや運用報告書

でも、いつも同じ話をして恐縮ですが、私たちは「下げに強い」値動きとなるようなファンド運用をいつも意識しています。上げ相場では相場なりであっても、下げ相場では相場ほど下げない、その繰り返し、最終的に勝つ確率を上げるからです。

そのために最も重視しているのが、値下がりしにくい投資対象資産、つまり、割安だと思われる資産を中心に組み合わせることです。私たちは、日本株が割安であるという判断に基づき、右のグラフの通り、設定来これまでずっと

■各ファンドの合計の資産配分状況の推移



日本株に重心を置いて運用してきました。さらにここ数年は、分散投資を進めてリスクを下げるために、当面の目安として「日本株:海外株:キャッシュ=6:3:1」というバランスを念頭に置いて海外株のポジションを緩やかに増やし、直近では、おおむねこの水準を保つ形になってきました。

ただ、今後は徐々に日本株が買われて高くなり、割安さが解消される（結果として日本株の比率が上がっていく）方向にあると考えていますので、ここからは海外株のウェイトを高める方向での売買チャンスを窺っていくことになると考えています。当面のターゲットは、欧米の先進国株が中心です。

これからも、私たちが目指すのは、他のファンドとの組み合わせ等による資産配分の調整はもちろん、適宜の売買による益出しや買い直しの必要もない、ただこれだけを持ち続けていることが最終的に一番理に適っているような『安心して長期保有できるファンド』です。

これを実現すること、つまり、本格的な長期投資の成功例を皆さまとご一緒に作り上げることが、私たちの目標なのです。今後とも末永く、よろしくお願い申し上げます。

● **直接販売状況**

2013年9月2日決算日現在 有効口座数(※) 5,654 口座 ※決算日現在残高のないお客様も含まれます。

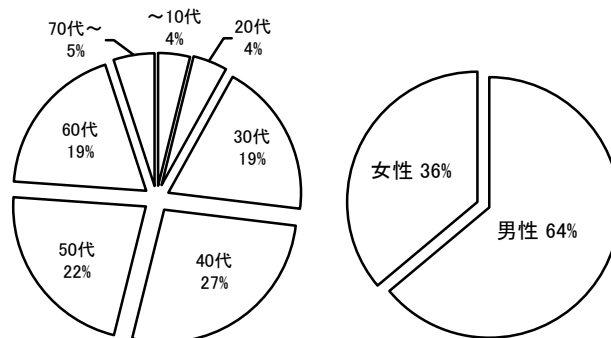
当期末現在で口座数が 5,654 口座(内法人 34 口座)となりました。一人当たりの平均保有残高は 1,814,853 円です。当期の新規口座開設件数は 230 口座でした。前期に引き続き、「本・新聞等を見て」や「家族・知人の紹介」を口座開設のきっかけとされる方が多くを占めております。一方、一定期間取引の無いお客様の口座閉鎖手続やファンドの売却と共に口座閉鎖手続きをされたことによる口座数減少は 299 口座となりました。

● **お客様の特徴**

年代別では、40代のお客様が 26.8%と最も多く、40代から 60代のお客様が全体の約 67%となっております。第9期における口座開設では、40代の働き盛りのお客様からのお申込を多くいただきました。

● **ファンド設定・解約の状況**

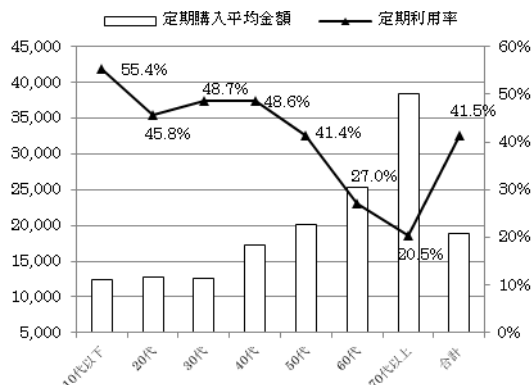
第9期においては、設定金額が 686,809,372 円、解約金額が 1,420,507,798 円となり、期間中延べ 28,000 件を超える購入申込を頂いたものの、金額ベースでは純流出となりました。保有利益が出ているお客様からの利益確定の売却が主な要因です。一方で、ありがとうファンドの純資産額は組入ファンドの時価評価拡大が貢献し、期中平均 94.8 億円とファンド運用スタート以来最大となりました。



● **定期定額購入サービス**

当サービスをご利用されているお客様の割合は 41.5% (分母：有効口座数)。一人当たりの定期購入金額平均は 18,873 円でした。

相場の変動に踊らされないためにも、時間分散による継続投資を、お客様の年齢問わず推奨しております。インフレから資産を守る観点からも、長期継続投資は重要だと考えております。お客様のお好きなタイミングで購入する「スポット購入」と合わせ、「定期定額購入」サービスをどうぞ活用ください。



● **運用状況を随時お伝えしております。**

毎月上旬発行の月次レポート以外にも、CIOが直接お客様とお会いしてファンドの運用状況をお伝えするセミナーと合わせ、ホームページ上では、動画による四半期運用報告を公開しております。引き続き、ファンドの運用状況を CIO より皆様にお伝えする場を積極的に用意して参ります。

◆ 1万口当りの費用の明細 (自2012年9月1日 至2013年9月2日)

項目	当期
(a) 信託報酬	98円
(投信会社)	(48)
(販売会社)	(39)
(受託銀行)	(11)
(b) 保管費用等	0
合計	98

注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。  
(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率  
(b) 保管費用等は目論見書等の法定資料作成交付にかかる費用および監査費用などです。

注2) 各項目毎に円未満四捨五入のため、単純合計と表示が異なる場合があります。

◆ 当期中の売買および取引の状況

[投資信託受益証券] (自2012年9月1日 至2013年9月2日)

	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内		千口	千円	千口	千円
	社会貢献ファンド	—	—	270,000	340,047
	さわかみファンド	—	—	197,902	300,000
	TMA長期投資ファンド	—	—	171,130	200,000
	トヨタグループ株式ファンドF	—	—	100,000	189,280
	合計	—	—	739,032	1,029,327

注1) 金額は受け渡し代金です。  
注2) 単位未満は切り捨てです。

[投資証券] (自2012年9月1日 至2013年9月2日)

	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	ルクセンブルグ	千口	千円	千口	千円
	キャピタル・インターナショナル・USグロース アンド インカム・ファンド クラスX	68	100,000	—	—

注1) 金額は受け渡し代金です。  
注2) 単位未満は切り捨てです。

◆ 利害関係人との取引状況 (自2012年9月1日 至2013年9月2日)

期中における当ファンドにかかる利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆ 第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

当期における自己取引はありません。

◆ 自社による当ファンドの設定・解約状況

(自2012年9月1日 至2013年9月2日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引の理由
千円 70,000	千円 0	千円 0	千円 70,000	期首残高は当初設定時に自社財産の運用を目的として取得。

◆ 組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた投資対象ファンドの明細

[投資信託受益証券]

ファンド名	期首（前期末）	当期末（2013年9月2日現在）			
	単位数又は口数	単位数又は口数	評価額	比率	
	千口	千口	千円	%	
TMA長期投資ファンド	1,587,180	1,416,049	1,625,341	15.8	
社会貢献ファンド	1,571,542	1,301,542	1,569,400	15.3	
さわかみファンド	1,015,494	817,591	1,222,626	11.9	
コモنز30ファンド	750,494	750,494	1,002,735	9.8	
トヨタグループ株式ファンドF	693,960	593,960	994,764	9.7	
ALAMCOハリスグローバルバリュー株ファンド2007	653,522	653,522	729,723	7.1	
NC・エマージングマーケット・ファンドSA	623,389	623,389	678,434	6.6	
NC・ヨーロッパ・ファンドSA	460,662	460,662	615,122	6.0	
合計	口数・金額	7,356,246	6,617,214	8,438,150	82.2
	銘柄数	8	8		

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。比率は四捨五入。(注2) 単位未満は切り捨 (注3) NC=ニッポンコムジェスト

[投資証券]

ファンド名	期首（前期末）	当期末（2013年9月2日現在）			
	単位数又は口数	単位数又は口数	評価額	比率	
(ルクセンブルグ) キャピタル・インターナショナル・USグロース アンドインカム・ファンド クラスX	千口 406	千口 474	千円 1,002,176	% 9.8	
合計	口数・金額	406	474	1,002,176	9.8
	銘柄数	1	1		

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。比率は四捨五入。(注2) 単位未満は切り捨

◆ 投資信託財産の構成

項目	当期末 (2013年9月2日現在)	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	8,438,150	81.8
投資証券	1,002,176	9.7
コール・ローン等、その他	877,274	8.5
投資信託財産総額	10,317,601	100.0

注1) 金額の単位未満は切り捨てです。そのため、単純合計と表示が異なる場合があります。

注2) 比率は四捨五入してあります。

◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末 (2013年9月2日現在)
(A) 資 産	10,317,601,560 円
コール・ローン等	877,274,003
投資信託受益証券(評価額)	8,438,150,568
投資証券(評価額)	1,002,176,989
(B) 負 債	56,419,406
未払解約金	5,792,155
未払信託報酬	50,627,251
(C) 純資産総額(A-B)	10,261,182,154
元 本	8,810,277,400
次期繰越損益金	1,450,904,754
(D) 受益権総口数	8,810,277,400 口
1万口当り基準価額(C/D)	11,647 円

注1) 期首元本額 9,428,896,245円  
 期中追加設定元本額 664,937,811円  
 期中一部解約元本額 1,283,556,656円

注2) 運用報告書作成日時時点では、監査未了です。

注3) 計算期間の末日現在1口当たり純資産の額 1.1647円

◆ 損益の状況 (自2012年9月1日 至2013年9月2日)

項 目	当 期 末
(A) 配 当 等 収 益	213,403 円
受取利息	213,403
(B) 有価証券売買損益	3,035,714,277
売 買 益	3,400,368,053
売 買 損	△364,653,776
(C) 信 託 報 酬 等	△89,816,085
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,946,111,595
(E) 前期繰越損益金	△1,970,026,567
(F) 追加信託差損益金	474,819,726
(配当等相当額)	(999,399,331)
(売買損益相当額)	(△524,579,605)
(G) 計(D+E+F)	1,450,904,754
(H) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,450,904,754
追加信託差損益金	474,819,726
(配当等相当額)	(999,399,331)
(売買損益相当額)	(△524,579,605)
分配準備積立金	976,085,028

注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

◆ 当期の分配金 (単位：円、1万口当たり・税引前)

	当 期
当期分配金	-円
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,242

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期の分配金と一致しない場合があります。

◆ お知らせ《当期中の約款の変更》

2013年1月4日 当社が加入している投資信託協会が一般社団法人への移行の認可を受け、名称を変更した事に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

《復興特別所得税のお知らせ》

2013年1月1日から2013年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時または償還時の差益に対し、所得税7%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、10.147%（所得税及び復興特別所得税7.147%、並びに住民税3%（法人受益者は7.147%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。なお復興特別所得税に係る記載のある目論見書の再交付を希望される受益者の方につきましては、その旨をお申し出いただければ再度交付させていただきます。

◆ 指定投資信託証券の運用内容

『ありがとうファンド』は、主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替えを大前提とします。厳しい基準に基づいて選択されたファンドを活用し、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。運用成果については、特定のベンチマークを設けることはしません。短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。

組入れファンドの選択に当っては、ファンドの運用方針が明確で、一貫性があることを重視し、ファンド・オブ・ファンズのパフォーマンスへの寄与を明確にします。選択の基準としては、運用資金が安定的に推移し、顧客から継続して支持を受けていることも重要な条件とします。組入れファンドの運用内容のチェックとして、基準価額の推移が運用方針と整合性を持っているかどうか重要な判断基準とします。

以降、各ファンドの直近の決算状況を各ファンドからのデータ提供をもとに掲載しております。

1 《さわかみファンド》

第14期（決算日：2013年8月23日）計算期間：2012年8月24日～2013年8月23日



■1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

自2012年8月24日 至2013年8月23日

項目	金額
(a) 信託報酬	136 円
（投 信 会 社）	（ 75 ）
（販 売 会 社）	（ 47 ）
（受 託 銀 行）	（ 14 ）
(b) 売買委託手数料	1
（株 式）	（ 1 ）
合 計	137

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■組入資産の明細（上位10銘柄）

2013年8月23日現在

順位	銘柄コード	銘柄名	業種名	組入比率(%)
1	7203	トヨタ自動車	輸送用機器	5.90
2	5108	ブリヂストン	ゴム製品	4.31
3	7011	三菱重工業	機械	2.95
4	6902	デンソー	輸送用機器	2.52
5	4452	花王	化学	2.52
6	9104	商船三井	海運業	2.16
7	4063	信越化学工業	化学	2.04
8	5332	TOTO	ガラス・土石製品	2.03
9	6367	ダイキン工業	機械	1.97
10	6752	パナソニック	電気機器	1.95

※比率は8月23日現在における純資産総額比です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2013年8月23日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	294,449,679,864円
コーポレートローン等	6,178,919,227
株式(評価額)	287,296,568,100
未収入金	580,483,037
未収配当金	393,709,500
(B) 負 債	961,993,834
未払金	45,682,718
未払解約金	129,090,828
未払信託報酬	787,220,288
(C) 純資産総額(A-B)	293,487,686,030
元本	190,708,903,640
次期繰越損益金	102,778,782,390
(D) 受益権総口数	190,708,903,640口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,389円

注1) 期首元本額 205,226,474,386円  
 期中追加設定元本額 14,051,369,134円  
 期中一部解約元本額 28,568,939,880円

注2) 運用報告書作成日時点では、監査未了です。

注3) 計算期間の末日における1口当たり純資産の額は1,5389円です。

■損益の状況

自2012年8月24日 至2013年8月23日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	4,408,324,497 円
受取配当金	4,401,853,452
受取利息	954,331
その他収益金	5,516,714
(B) 有価証券売買損益	93,810,729,284
売買益	105,051,405,999
売買損	△11,240,676,715
(C) 信託報酬等	△2,724,061,578
(D) 当期損益金(A+B+C)	95,494,992,203
(E) 前期繰越損益金	△59,784,901,036
(F) 追加信託差損益金	67,068,691,223
(配当等相当額)	(116,989,142,923)
(売買損益相当額)	(△49,920,451,700)
(G) 合計(D+E+F)	102,778,782,390
(H) 収益分配金	-
次期繰越損益金(G+H)	102,778,782,390
追加信託差損益金	67,068,691,223
(配当等相当額)	(116,989,142,923)
(売買損益相当額)	(△49,920,451,700)
分配準備積立金	45,632,086,752
繰越損益金	△9,921,995,585

## 2 《トヨタグループ株式ファンドF(適格機関投資家専用私募)》

第9期 (決算日:2012年11月13日) 計算期間:2011年11月15日~2012年11月13日



### ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	前 期	当 期
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託銀行 )	36円 (30) (2) (4)	34円 (28) (2) (4)
(b) 売買委託手数料 ( 株式 )	0 (0)	0 (0)
(c) 保管費用等	1	0
合 計	37	34

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加設定・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 保管費用等には、監査費用を含みます。

### ■組入資産明細表

#### ● 親投資信託残高

(2012年11月13日現在)

種 類	期 首 (前 期 末)		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
トヨタグループ株式マザーファンド	千口 528,251	千円 542,936	千口 526,219	千円 626,990

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

#### ● トヨタグループ株式マザーファンド組入上位10銘柄(2012年11月13日現在)

銘柄名	業種	比率
1 トヨタ自動車	輸送用機器	50.0%
2 デンソー	輸送用機器	17.3%
3 豊田自動織機	輸送用機器	6.1%
4 アイシン精機	輸送用機器	5.3%
5 豊田通商	卸売業	5.1%
6 ダイハツ工業	輸送用機器	4.8%
7 日野自動車	輸送用機器	3.0%
8 豊田合成	輸送用機器	1.8%
9 ジェイテクト	機械	1.6%
10 小糸製作所	電気機器	1.4%

※比率は、ファンドの現物株式組入れ=100%とした各銘柄の比率です。  
※比率はマザーファンドでの比率です。



## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	前期末 (2011年11月14日)	
	前期末	当期末 (2012年11月13日) 現在
(A) 資産	544,167,943円	628,270,734円
コール・ローン等	1,220,041	1,255,160
トヨタグループ株式マザーファンド(詳細額)	542,936,900	626,990,572
未収入金	11,000	25,000
未収利息	2	2
(B) 負債	1,193,578	1,222,559
未払信託報酬	1,177,285	1,205,872
その他未払費用	16,293	16,687
(C) 純資産総額(A-B)	542,974,365	627,048,175
元本	693,960,447	693,960,447
次期繰越損益金	△150,986,082	△66,912,272
(D) 受益権総口数	693,960,447口	693,960,447口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,824円	9,036円

## ■損益の状況

項目	前期 (2010年11月16日～2011年11月14日)	
	前期	当期 (2011年11月15日～2012年11月13日)
(A) 配当等収益	319円	236円
受取利息	319	236
(B) 有価証券売買損益	△86,168,474	86,483,672
売買益	36,011,720	86,488,749
売買損	△122,180,194	△5,077
(C) 信託報酬等	△2,860,292	△2,410,098
(D) 当期損益金(A+B+C)	△89,028,447	84,073,810
(E) 前期繰越損益金	△432,177,936	△521,206,383
(F) 追加信託差損益金	370,220,301	370,220,301
(配当等相当額)	(284,692,325)	(284,692,325)
(売買損益相当額)	(85,527,976)	(85,527,976)
(G) 計(D+E+F)	△150,986,082	△66,912,272
次期繰越損益金(G)	△150,986,082	△66,912,272
追加信託差損益金	370,220,301	370,220,301
(配当等相当額)	(284,692,325)	(284,692,325)
(売買損益相当額)	(85,527,976)	(85,527,976)
分配準備積立金	131,465,754	143,732,279
繰越損益金	△652,672,137	△580,864,852

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注3) (F) 追加信託差損益金とるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記> (本書作成時点では監査未了です。)

①期首元本額は693,960,447円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円です。

②当期末における1口当たり純資産額は0.9036円です。

③計算期間末における費用控除後の配当等収益(12,266,525円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(284,692,325円)および分配準備積立金(131,465,754円)より分配対象収益は428,424,604円(10,000口当たり6,173円)ですが、当期に分配した金額はありません。

### 3 《社会貢献ファンド(適格機関投資家専用)》

第8期 (決算日:2012年9月20日) 計算期間:2011年9月21日~2012年9月20日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

#### ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 ( 投信会社 )	72円 (63)
( 販売会社 )	(2)
( 受託銀行 )	(7)
(b) 売買委託手数料 ( 株式 )	10 (10)
(c) 保 管 費 用 等	0
合 計	82

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です(項目ごとに円未満は四捨五入しています。)

- (a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額×信託報酬率  
 (b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数  
 (c) 保管費用等 = 期中の保管費用等/期中の平均受益権口数

なお、売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

#### ■組入資産の明細

##### ●親投資信託残高

(2012年9月20日現在)

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ALAMCO 社会貢献マザーファンド	千口 1,566,709	千口 1,551,998	千円 1,422,562

(注) 親投資信託の当期末の受益権総口数は、3,941,399千口です。

##### ●ALAMCO 社会貢献マザーファンド組入上位10銘柄(2012年9月20日現在)

順位	銘柄名	組入比率
1	オイレス工業	3.7%
2	関西ペイント	3.4%
3	ツムラ	3.2%
4	マキタ	3.2%
5	堀場製作所	3.1%
6	リンナイ	3.1%
7	アシックス	3.0%
8	メッセージ	2.9%
9	セブン銀行	2.9%
10	トヨタ自動車	2.9%

(注)組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2012年9月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,436,340,439円
コール・ローン等	13,778,193
ALAMCO社会貢献マザーファンド(評価額)	1,422,562,224
未 収 利 息	22
(B) 負 債	6,104,261
未 払 信 託 報 酬	6,066,410
そ の 他 未 払 費 用	37,851
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,430,236,178
元 本	1,671,542,949
次 期 繰 越 損 益 金	△241,306,771
(D) 受 益 権 総 口 数	1,671,542,949口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	8,556円

(注1) 期首元本額は1,671,542,949円、期中追加設定元本額は-円、期中一部解約元本額は-円です。  
(注2) 投資信託財産計算規則第55条の6第10号に規定する額は以下のとおりです。  
元本の欠損(当期末)241,306,771円

■損益の状況

当期(自2011年9月21日至2012年9月20日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	4,073
受取利息	4,073
(B) 有価証券売買損益	25,897,241
売買益	25,897,241
(C) 信託報酬等	△12,060,723
(D) 当期損益金 (A+B+C)	13,840,591
(E) 前期繰越損益金	△554,604,436
(F) 追加信託差損益金	299,457,074
(配当等相当額)	(178,185,162)
(売買損益相当額)	(121,271,912)
(G) 計 (D+E+F)	△241,306,771
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G+H)	△241,306,771
追加信託差損益金	299,457,074
(配当等相当額)	(178,185,162)
(売買損益相当額)	(121,271,912)
分配準備積立金	146,472,336
繰越損益金	△687,236,181

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(21,985,524円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(-円)、信託約款に規定する収益調整金(178,185,162円)および分配準備積立金(124,486,812円)より分配対象収益は324,657,498円(10,000口当たり1,942円)ですが、当期は分配を行いませんでした。

#### 4 《TMA長期投資ファンド(適格機関投資家限定)》

第6期(決算日:2013年5月15日) 計算期間:2012年5月16日~2013年5月15日



東京海上アセットマネジメント投信株式会社

##### ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託銀行 )	45円 (38) (3) (4)
(b) 売買委託手数料 ( 株式 )	13 (13)
(c) 有価証券取引税 ( 株式 )	2 (2)
(d) 保 管 費 用 等	2
合 計	62

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税、

(d) 保管費用等は期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

##### ■組入資産の明細(2013年5月15日現在)

###### ●親投資信託残高

種 類	期首(前期末)		当 期 末	
	口数	評価額	口数	評価額
東京海上長期投資マザーファンド	千口 2,219,111	千円 1,841,418	千口 2,307,077	千円 2,879,924

###### ●東京海上長期投資マザーファンド株式組入上位10銘柄(2013年5月15日現在)

	銘 柄 名	国 名	評価額 (邦貨換算金額)	組入比率
			千円	%
1	キーエンス	日 本	141,245	4.9
2	セブン銀行	日 本	111,300	3.9
3	ミスミグループ本社	日 本	92,969	3.2
4	本田技研工業	日 本	92,070	3.2
5	シマノ	日 本	89,600	3.1
6	SMC	日 本	89,360	3.1
7	BG GROUP PLC	イ ギ リ ス	85,925	3.0
8	日本電産	日 本	83,520	2.9
9	リンナイ	日 本	82,800	2.9
10	NOVOZYMES A/S-B SHARES	デンマーク	80,196	2.8

(注)組入比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

###### ●債券組入銘柄

銘柄名	利率	額面金額	評価額	償還年月日	組入比率
(国債証券)第14回利付国債(物価連動・10年)	1.2%	100,000千円	112,202千円	2017/12/10	3.9%

(注1)組入比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2)株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

###### 株式 国別構成比率

資産	国名	構成比率
株式		%
	日本	59.3
	アメリカ	15.7
	デンマーク	4.6
	イギリス	3.0
	ドイツ	2.5

(注)構成比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	期首（前期末） （2012年5月15日現在）	当期末 （2013年5月15日現在）
(A) 資 産	1,846,015,450円	2,885,771,496円
東京海上長期投資マザーファンド(評価額)	1,841,418,325	2,879,924,583
未 収 入 金	4,597,125	5,846,913
(B) 負 債	4,597,125	5,846,913
未 払 信 託 報 酬	4,502,423	5,726,436
そ の 他 未 払 費 用	94,702	120,477
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,841,418,325	2,879,924,583
元 本	2,270,223,370	2,371,342,318
次 期 繰 越 損 益 金	△428,805,045	508,582,265
(D) 受 益 権 総 口 数	2,270,223,370口	2,371,342,318口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	8.111円	12.145円

(注1)当ファンドの期首元本額は2,270,223,370円、期中追加設定元本額は199,790,890円、期中一部解約元本額は98,671,942円です。  
(注2)当期末の1口当たり純資産額は1.2145円です。

■損益の状況

項 目	前 期	当 期
	自 2011年5月17日 至 2012年5月15日	自 2012年5月16日 至 2013年5月15日
	円	円
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△21,070,427	948,474,140
売 買 益	14,855	955,632,313
売 買 損	△21,085,282	△7,158,173
(B) 信 託 報 酬 等	△9,038,967	△10,559,609
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	△30,109,394	937,914,531
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	7,270,518	△21,744,588
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△405,966,169	△407,587,678
( 配 当 等 相 当 額 )	(88,755,189)	(99,792,076)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△494,721,358)	(△507,379,754)
(F) 計 (C+D+E)	△428,805,045	508,582,265
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	△428,805,045	508,582,265
追 加 信 託 差 損 益 金	△405,966,169	△407,587,678
( 配 当 等 相 当 額 )	(88,834,162)	(100,004,588)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△494,800,331)	(△507,592,266)
分 配 準 備 積 立 金	80,852,571	916,169,943
繰 越 損 益 金	△103,691,447	—

(注1) (A)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。  
(注2) (B)信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注3) (E)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。  
(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(34,093,055円)、費用控除後の有価証券等損益額(804,477,988円)、信託約款に規定する収益調整金(100,004,588円)および分配準備積立金(77,598,900円)より分配対象収益は1,016,174,531円(1万口当たり4,285円)でしたが、当期に分配した金額はありません。

## 5 《ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)》

第5期(決算日:2012年12月25日) 計算期間:2011年12月27日~2012年12月25日

### ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細



項 目	当 期
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	88円 (53) (26) (9)
(b) 売買委託手数料 (株式)	6 (6)
(c) 有価証券取引税 (株式)	2 (2)
(d) 保 管 費 用 等	8
合 計	104

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税、(d) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

### ■組入資産の明細(2012年12月25日現在)

#### ●親投資信託残高

種 類	期首(前期末)		当 期 末	
	口数		評価額	
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド	千口	千口	千円	千円
	2,280,087	2,369,268	2,577,763	

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

#### ●ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド組入上位10銘柄(2012年12月25日現在)

順位	銘柄名	国名	主たる事業	比率
1	INDITEX	スペイン	衣料品販売	6.8%
2	SAP AG	ドイツ	ソフトウェア開発等	6.7%
3	DASSAULT SYSTEMES SA	フランス	ソフトウェア開発等	5.3%
4	L'OREAL	フランス	化粧品、香水等	5.3%
5	LINDE AG	ドイツ	産業用ガス	5.2%
6	ESSILOR INTERNATIONAL	フランス	レンズ製造	5.1%
7	HEINEKEN NV	オランダ	ビール等	4.3%
8	EXPERIAN PLC	イギリス	クレジットマーケティングサービス	4.2%
9	SODEXO	フランス	フードサービス等	4.0%
10	ILIAD SA	フランス	通信	3.7%

※国および主たる事業の区分は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	期首（前期末） （2011年12月26日現在）	当期末 （2012年12月25日現在）
(A) 資 産	1,700,178,554円	2,590,110,734円
コール・ローン等	9,265,965	12,346,821
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド(評価額)	1,690,912,577	2,577,763,897
未 収 利 息	12	16
(B) 負 債	9,140,891	11,916,011
未 払 信 託 報 酬	8,878,391	11,653,511
そ の 他 未 払 費 用	262,500	262,500
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,691,037,663	2,578,194,723
元 本	2,365,133,872	2,483,184,621
次 期 繰 越 損 益 金	△674,096,209	95,010,102
(D) 受 益 権 総 口 数	2,365,133,872口	2,483,184,621口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	7,150円	10,383円

(注) 当ファンドの期首元本額は2,365,133,872円、期中追加設定元本額は189,494,264円、期中一部解約元本額は71,443,515円です。

(注) また、1口当たり純資産額は1.0383円です。

■損益の状況

項 目	前期 (2010年12月28日～2011年12月26日)	当期 (2011年12月27日～2012年12月25日)
	前 期	当 期
(A) 配当等収益	1,813 円	16,412 円
受取利息	1,813	2,184
その他収益金	—	14,228
(B) 有価証券売買損益	△96,055,310	808,114,907
売買益	4,487,206	819,611,312
売買損	△100,542,516	△11,496,405
(C) 信託報酬等	△18,643,695	△22,470,672
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△114,697,192	785,660,647
(E) 前期繰越損益金	33,864,465	△78,553,108
(F) 追加信託差損益金	△593,263,482	△612,097,437
(配当等相当額)	(29,820,859)	(35,101,665)
(売買損益相当額)	(△623,084,341)	(△647,199,102)
(G) 合計 (D + E + F)	△674,096,209	95,010,102
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金 (G + H)	△674,096,209	95,010,102
追加信託差損益金	△593,263,482	△612,097,437
(配当等相当額)	(29,988,571)	(35,288,231)
(売買損益相当額)	(△623,252,053)	(△647,385,668)
分配準備積立金	46,293,088	707,107,539
繰越損益金	△127,125,815	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(32,495,212円)、費用控除後の有価証券等損益額(629,624,783円)、信託約款に規定する収益調整金(35,288,231円)および分配準備積立金(44,987,544円)より分配対象収益は742,395,770円(10,000口当たり2,989円)ですが、当期に分配した金額はありません。

6《ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)》

第5期(決算日:2012年12月25日) 計算期間:2011年12月27日~2012年12月25日



■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託銀行 )	89円 (53) (27) (9)
(b) 売買委託手数料 ( 株式 )	13 (13)
(c) 有価証券取引税 ( 株式 )	3 (3)
(d) 保 管 費 用 等	20
合 計	125

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税、(d) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

■組入資産の明細(2012年12月25日現在)

●親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	千口 3,085,325	千口 3,000,391	千円 3,017,194

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

●ニッポンコムジェスト・エマージングマーケットマザーファンド組入上位10銘柄(2012年12月25日現在)

順位	銘柄名	国名	主たる事業	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	台湾	半導体製造	4.8%
2	HEINEKEN NV	オランダ	ビールメーカー	4.1%
3	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	中国	生命保険	3.6%
4	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	中国	生命保険等	3.6%
5	TENARIS SA-ADR	アルゼンチン	シームレスパイプ製造	3.1%
6	BUNGE LTD	アメリカ	穀物商社	3.0%
7	WEG SA	ブラジル	モーター製造	2.9%
8	WALMART DE MEXICO-SER V	メキシコ	スーパーマーケット	2.9%
9	SAMSUNG LIFE INSURANCE CO	韓国	生命保険	2.8%
10	BHARAT HEAVY ELECTRICALS	インド	重電機製造	2.8%

※国の別は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。



■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	期首（前期末） （2011年12月26日現在）	当期末 （2012年12月25日現在）
(A) 資 産	2,499,218,104円	3,032,940,108円
コール・ローン等	13,371,474	15,746,006
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケットマザーファンド(評価額)	2,485,846,612	3,017,194,081
未 収 利 息	18	21
(B) 負 債	13,226,223	15,239,159
未 払 信 託 報 酬	12,963,723	14,976,659
そ の 他 未 払 費 用	262,500	262,500
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	2,485,991,881	3,017,700,949
元 本	3,196,655,668	3,142,417,602
次 期 繰 越 損 益 金	△710,663,787	△124,716,653
(D) 受 益 権 総 口 数	3,196,655,668口	3,142,417,602口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	7,777円	9,603円

(注) 当ファンドの期首元本額は3,196,655,668円、期中追加設定元本額は280,237,003円、期中一部解約元本額は334,475,069円です。

(注) また、1口当たり純資産額は0.9603円です

■損益の状況

項 目	前期（2010年12月28日～2011年12月26日） 当期（2011年12月27日～2012年12月25日）	
	前 期	当 期
(A) 配当等収益	2,744 円	3,000 円
受取利息	2,744	3,000
(B) 有価証券売買損益	△572,931,249	590,155,440
売買益	8,422,647	623,282,186
売買損	△581,353,896	△33,126,746
(C) 信託報酬等	△27,548,650	△30,124,249
(D) 当期損益金 ( A + B + C )	△600,477,155	560,034,191
(E) 前期繰越損益金	260,801,651	△306,753,123
(F) 追加信託差損益金	△370,988,283	△377,997,721
(配当等相当額)	(236,896,131)	(256,344,354)
(売買損益相当額)	(△607,884,414)	(△634,342,075)
(G) 合計 ( D + E + F )	△710,663,787	△124,716,653
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金 ( G + H )	△710,663,787	△124,716,653
追加信託差損益金	△370,988,283	△377,997,721
(配当等相当額)	(237,735,324)	(256,678,849)
(売買損益相当額)	(△608,723,607)	(△634,676,570)
分配準備積立金	283,187,255	299,074,060
繰越損益金	△622,862,759	△45,792,992

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(43,334,171円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(256,678,849円)および分配準備積立金(255,739,889円)より分配対象収益は555,752,909円(10,000口当たり1,768円)ですが、当期に分配した金額はありません。

7《ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007(適格機関投資家専用)》

第6期(決算日:2013年3月11日) 計算期間:2012年3月10日~2013年3月11日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項	目	当 期
(a)	信託報酬	103円
	( 投信会社 )	(80)
	( 販売会社 )	(17)
	( 受託銀行 )	(6)
(b)	売買委託手数料	5
	( 株 式 )	(5)
(c)	有価証券取引税	1
	( 株 式 )	(1)
(d)	保 管 費 用 等	4
	合 計	113

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です(項目ごとに円未満は四捨五入しています)。

- (a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額×信託報酬率  
 (b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数  
 (c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数  
 (d) 保管費用等 = 期中の保管費用等/期中の平均受益権口数

なお、売買委託手数料、有価証券取引税 および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

■組入資産の明細

●親投資信託残高

(2013年3月11日現在)

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株マザーファンド	千口 13,096,702	千口 3,872,688	千円 4,178,631

(注) 親投資信託の当期末の受益権総口数は17,125,485千口です。

●ALAMCO ハリスグローバルバリュース株マザーファンド組入上位10銘柄(2013年3月11日現在)

順位	銘柄名	組入比率
1	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	4.9%
2	INTEL CORP	4.4%
3	STARWOOD HOTELS & RESORTS	3.9%
4	DAIMLER AG-REG	3.8%
5	ALLIANZ SE	3.8%
6	PPR	3.7%
7	ADECCO SA-REG	3.5%
8	FIAT INDUSTRIAL	3.5%
9	KUEHNE & NAGEL INTL AG-REG	3.4%
10	JULIUS BAER GROUP LTD	3.4%

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2013年3月11日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	4,205,275,705円
コー ル ・ ロ ー ン 等	26,644,576
A L A M C O ハ リ ス グ ロ ー バ ル バリュース株マザーファンド(評価額)	4,178,631,086
未 収 利 息	43
(B) 負 債	23,555,184
未 払 信 託 報 酬	23,464,991
そ の 他 未 払 費 用	90,193
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	4,181,720,521
元 本	4,161,015,479
次 期 繰 越 損 益 本 金	20,705,042
(D) 受 益 権 総 口 数	4,161,015,479口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	10,050円

(注) 期首元本額は13,872,628,093円、期中追加設定元本額は27,783,707円、期中一部解約元本額は9,739,396,321円です。

■損益の状況

当期 (自 2012 年 3 月 10 日 至 2013 年 3 月 11 日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	43,186
受取利息	43,186
(B) 有価証券売買損益	1,176,051,273
売買益	1,782,388,087
売買損	△606,336,814
(C) 信託報酬等	△63,482,889
(D) 当期損益金 (A+B+C)	1,112,611,570
(E) 前期繰越損益金	△130,530,479
(F) 追加信託差損益金	△961,376,049
(配当等相当額)	(114,647,668)
(売買損益相当額)	(△1,076,023,717)
(G) 計 (D+E+F)	20,705,042
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G+H)	20,705,042
追加信託差損益金	△961,376,049
(配当等相当額)	(114,696,955)
(売買損益相当額)	(△1,076,073,004)
分配準備積立金	982,081,091

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託する場合における当該委託に要する費用は29,523,618円となります。

(注5) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(66,695,717円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(876,517,826円)、信託約款に規定する収益調整金(114,696,955円)および分配準備積立金(38,867,548円)より分配可能額は1,096,778,046円(10,000 口当たり2,635 円)ですが、当期は分配を行いませんでした。

8《コモンズ30ファンド(適格機関投資家用)》

第4期(決算日:2013年1月18日) 計算期間:2012年1月19日~2013年1月18日



■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項	目	当 期
(a)	信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託銀行 )	59円 (54) (1) (4)
(b)	売買委託手数料 ( 株式 )	12 (12)
(c)	保 管 費 用 等	2
	合 計	73

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

■組入資産の明細

●親投資信託残高

(2013年1月18日現在)

種類	期 首		当 期 末	
	口数	評価額	口数	評価額
コモンズ・サーティー・マザーファンド	千口 760,609	千円 930,605	千口 815,096	千円 1,277,256

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

●コモンズ・サーティー・マザーファンド組入上位10銘柄(2013年1月18日現在)

銘柄名	業種	比率
1 カカクコム	サービス業	3.9%
2 ファーストリテイリング	小売業	3.9%
3 ディスコ	機械	3.8%
4 日東電工	化学	3.7%
5 日産自動車	輸送用機器	3.5%
6 小松製作所	機械	3.5%
7 三菱商事	卸売業	3.5%
8 信越化学工業	化学	3.5%
9 マキタ	機械	3.5%
10 クボタ	機械	3.5%

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する比率。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	期首 (前期末)	当期末
	(2012年1月18日現在)	(2013年1月18日現在)
(A) 資 産	932,305,220円	1,277,256,572円
コモンス・サテライト・マザーファンド(評価額)	930,605,220	1,277,256,572
未 取 入 金	1,700,000	—
(B) 負 債	1,558,967	1,871,935
未 払 信 託 報 酬	1,453,967	1,766,935
そ の 他 未 払 費 用	105,000	105,000
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	930,746,253	1,275,384,637
元 本	1,057,483,868	1,138,205,909
次 期 繰 越 損 益 金	△126,737,615	137,178,728
(D) 受 益 権 総 口 数	1,057,483,868口	1,138,205,909口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	8,802円	11,205円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,057,483,868円、期中追加設定元本額は80,722,041円、期中一部解約元本額は0.0円です。

(注) また、1口当たり純資産額は1,1205円です。

■損益の状況

項 目	前期 (2011年 1月19日～2012年1月18日)	当期 (2012年 1月19日～2013年1月18日)
	前 期	当 期
(A) 有価証券売買損益	△124,419,233 円	276,367,718 円
売買益	—	276,400,968
売買損	△124,419,233	△33,250
(B) 信託報酬等	△5,798,990	△6,729,329
(C) 当期損益金 (A+B)	△130,218,223	269,638,389
(D) 前期繰越損益金	40,964,491	△89,253,732
(E) 追加信託差損益金	△37,483,883	△43,205,929
(配当等相当額)	(105,270,527)	(118,606,616)
(売買損益相当額)	(△142,754,410)	(△161,812,545)
(F) 計 (C+D+E)	△126,737,615	137,178,728
(G) 収益分配金	0	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F+G)	△126,737,615	137,178,728
追加信託差損益金	△37,483,883	△43,205,929
(配当等相当額)	(106,416,601)	(118,714,876)
(売買損益相当額)	(△143,900,484)	(△161,920,805)
分配準備積立金	53,276,501	180,384,657
繰越損益金	△142,530,233	—

(注) 損益の状況の中で (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注) 損益の状況の中で (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(21,424,956円)、費用控除後の有価証券等損益額(105,683,200円)、信託約款に規定する収益調整金(118,714,876円)および分配準備積立金(53,276,501円)より分配対象収益は299,099,533円(10,000口当たり2,627円)ですが、当期に分配した金額はありません。

9《キャピタル・インターナショナル・USグロースアンドインカム・ファンド クラスX(ルクセンブルグ籍円建外国投資法人)》

(決算日:2012年12月31日) 計算期間:2012年1月1日~2012年12月31日

※下記情報は、Capital International Fund- Audited Annual Report 2012- For the year ended 31 December 2012 より

"Capital International US Growth and Income" の部を転記しております。また表示は基準通貨 (Base Currency) のユーロ (EUR) 建です。

■構成比率

As at 31 December 2012	%
<b>Shares</b>	
United States	84.08
United Kingdom	6.09
Canada	0.26
Germany	0.33
<b>Total shares</b>	<b>90.76</b>
Total mutual fund	7.97
Total corporate bond	0.25
Cash at bank and other net assets	1.02
<b>Total</b>	<b>100.00</b>

■セクター別構成比率

As at 31 December 2012	%
Energy	14.8
Health care	14.2
Information technology	12.8
Consumer discretionary	12.3
Consumer staples	10.4
Industrials	7.8
Telecommunication services	7.5
Financials	6.8
Materials	4.4
Other	8.0
Cash and equivalents	1.0

■資産、負債、純資産の状況

As at 31 December 2012 (continued)	
<b>Assets</b>	
Investments at market value	148,259,901
Cash at bank	4,559,228
Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	163,131
Receivable for fund shares subscribed	91,064
Prepaid expenses and other receivables	31,954
<b>Total assets</b>	<b>153,105,278</b>
<b>Liabilities</b>	
Payable for investments purchased	3,074,140
Payable for fund shares redeemed	57,453
Accrued expenses and other payables	58,029
Management fee payable	122,245
Unrealised loss on hedged share class forward foreign exchange contracts	323
<b>Total liabilities</b>	<b>3,312,190</b>
<b>Total net assets</b>	<b>149,793,088</b>
<b>Investment securities at cost</b>	<b>125,953,891</b>

■ 損益の状況

For the year ended 31 December 2012 (continued)

<b>Income</b>	
Dividend income (net of withholding taxes)	2,902,612
Interest on bonds and convertible bonds (net of withholding taxes)	18,775
Interest on bank accounts and time deposits	3,741
	<b>2,925,128</b>
<b>Expenses</b>	
Management fees	1,497,282
Administrative Manager services	140,603
Professional services	65,637
Taxe d'abonnement	64,836
Custody	22,924
Other	14,457
Printing and publishing	14,633
	<b>1,820,372</b>
Reimbursement of expenses	8,041
<b>Net investment income/(loss) (a)</b>	<b>1,112,797</b>
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	8,115,973
Foreign currency transactions	429,433
<b>Net realised profit/(loss) for the year (b)</b>	<b>8,545,406</b>
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	8,155,824
Foreign currency transactions	(248,705)
<b>Net change in unrealised appreciation/(depreciation) for the year (c)</b>	<b>7,907,119</b>
<b>Result of operations for the year (a+b+c)</b>	<b>17,565,322</b>
<b>Dividend distribution</b>	<b>(722,107)</b>
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the year	9,506,186
Total net assets at the beginning of the year	123,443,687
<b>Total net assets at the end of the year</b>	<b>149,793,088</b>